

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア相模原駅前教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日（水）
自己評価総括の担当者	川越優紀、尾崎尚美、渋谷唯、中野未来

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	49	51
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	6	9

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
<p>お子さまの発達状況や課題について、指導後のフィードバック等を通じて共通理解を図る姿勢に対し、多くの保護者さまから肯定的な評価をいただいています。 「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」についても高い評価を得ており、個々の特性に合わせた柔軟な支援が評価されています。</p>	<p>「保育所等や地域のお子さまと活動する機会があるか」という設問に対し、他項目に比べ否定的な回答や不明とする回答をいただいています。 「保護者さま同士の連携が支援されているか」に対し、教室側からの働きかけが十分に認知されていない現状があります。</p>

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
<p>指導員間での終礼時やそれ以外の時間を通じた細やかな情報共有を徹底し、どの日にお越しいただいてもお子さまの状況に合わせた最適な支援が行える体制を整えています。 また、保護者さまへのフィードバックに関する研修を実施することで、ご家庭との連携を深め、発達状況や課題に対する共通理解をより丁寧に図れるよう努めています。</p>	<p>地域交流については、限られた個別指導の時間枠内での実施が難しく、画一的な提供に至っていないことが要因です。 ペアレントトレーニングや座談会、BCP（事業継続計画）の掲示などは実施しているものの、利用のタイミングや掲示場所によっては保護者さまの目に触れにくく、認知度の低さにつながっています。</p>

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
<p>初任者研修に加え、育成担当者による日々のスキルアップの仕組みを維持・強化し、どの指導員が担当しても高い専門性を発揮できる体制を継続します。 画一的な実施は難しくとも、個々の支援計画に基づき、必要に応じて保育所や学校等との情報共有・連携を強化し、お子さまが地域で過ごしやすくなるための支援を深めます。</p>	<p>地域支援（保育所等への訪問・共有）は、個々のお子さまの状況に応じて計画に位置づけて実施しています。この取り組みをより多くの保護者さまに知っていただけるよう、契約時やフィードバック時のご案内を強化します。 BCP文書や災害時対応、座談会のお知らせについて、サロンスペースへの掲示だけでなく、フィードバック時や定期的な配布物を通じて、より確実に届く工夫を検討します。</p>